

実施計画事業名		芸術・文化活動支援事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり					
	施策	2	芸術・文化活動を普及・推進します					
	関連施策							
現状と課題	優れた芸術舞台鑑賞の機会が少ない地域性であることから、稚内市文化事業振興協議会が開催する鑑賞事業に対して補助を行い、市民に提供を行っているが、今後とも市民ニーズに沿った事業の招へいが必要である。また、近年、こどものバレエや音楽などのサークル活動等も活発化しており、様々な形態の芸術文化活動を支援していく必要がある。							
目的	市民が芸術・文化を楽しみ、心豊かな生活を送ることができる。							
5ヶ年開の 施策展開	多様な芸術文化にふれる機会の提供や市民自らが行う芸術創造活動を支援するとともに、文化事業がより一層親しまれ、魅力あるものとするためにも市民協働による事業の推進を図っていく。							
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度	
	芸術舞台鑑賞事業来場数		人	目標	1,200	1,200	1,200	
	説明	稚内市文化事業振興協議会が主催した芸術舞台鑑賞事業の来場者数(延べ)		実績	580	380		
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度	
	芸術舞台鑑賞事業実施回数		回	目標	2	2	2	
	説明	稚内市文化事業振興協議会が主催した芸術舞台鑑賞事業実施回数(年間)		実績	1	1		
	稚内市文化協会の加盟団体数		団体	目標	46	46	46	
	説明	稚内市文化協会加盟団体数		実績	42	42		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	3,450	3,200	3,200		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	3,450	3,200	3,200		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.30	0.26	0.26		
	人件費(B)		千円	2,078	1,766	1,766		
計(A+B)		千円	5,528	4,966	4,966			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) <b>c</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)
	<cの場合は、なぜかを分析して記入する> 入場者数については、目標値と大きな差があり早急な改善が必要である。各団体からの情報などを取り入れて実施しているが、さらに市民の声を反映させられる事業選考の工夫が求められている。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか <b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 稚内における舞台演劇関係の公演は集客力が弱く、興行的に折り合わないのが実態である。1興行で、幅広い年齢層のニーズや好みのジャンルに応えることが困難であることから、複数の事業を実施するなどの検討が必要である。
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか <b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 稚内における舞台演劇関係の公演は集客力が弱く、興行的に折り合わないのが実態である。1興行で、幅広い年齢層のニーズや好みのジャンルに応えることが困難であることから、市民団体との協働により鑑賞者人数の向上に努める必要がある。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか <b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>C</b> 見直しが急務 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 入場者数については、目標値と大きな差があり早急な改善が必要である。各団体からの情報などを取り入れて実施しているが、さらに市民の声を反映させられる事業選考の工夫が求められている。協議会で公演等の選定作業を日程・予算等を含め計画的に進めていく。

【2次評価】

成 果	<b>c</b>	細事業の構成	<b>b</b>	細事業の進め方	<b>b</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>C</b> 見直しが急務 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	稚内市文化事業振興協議会が実施する芸術舞台鑑賞事業については、市民来場者の増加に努めるとともに、定住自立圏構想の推進を図るため、近隣町村と連携し、近隣住民の鑑賞機会の確保についても検討すること。
--------	---